

さわやかな秋空の下、ウォーキングなどスポーツを楽しむ

「体育の日」の10月8日、市民ラジオ体操会兼あるけあるけ運動とスポーツ少年団交流会が、なまこ山総合運動公園で開催されました。

市民の健康・体力づくりを目的とした毎年恒例の行事。台風から変わった低気圧の影響が心配されましたが、当日は晴れ間も見られ

るさわやかな天候となりました。

あるけあるけ運動には、4キロと8キロのコースに合わせて約150人が参加。陸上競技場をスタートし、4キロコースは道の駅、8キロコースは旭ヶ丘公園までを往復するルートで行われ、皆さんは見ごろを迎えた紅葉の風景を楽しみながら心地よい汗を流していました。



特殊詐欺防止で書道パフォーマンスも披露。防犯の集いを開催



10月9日、「防犯都市宣言」を記念する市民の集い 地域安全運動芦別市民大会が、総合福祉センターで開催されました。

当日は、芦別警察署の寺田聡署長が「犯罪や事故のない安心して暮らせる芦別市の実現について」と題して講演したほか、市内で募

集した「特殊詐欺撲滅川柳」の発表が行われ、芦別高校書道部OGのつるたきょうか 稲田桜花さんとまりん 田中真琳さんが書道パフォーマンスを披露＝写真＝。会場の参加者は、巧みな筆さばきを称賛するとともに、特殊詐欺防止など犯罪のない街づくりへの思いを新たにしていました。

3年ぶりに大林宣彦監督が来芦。映画上映や市民と交流

10月13日、星の降る里芦別映画学校実行委員会と芦別映画製作委員会主催による大林宣彦監督作品『花筐』はながたみ 上映会と大林監督らゲストとの交流パーティーが総合福祉センターで開催されました。

大林監督が本市を訪れるのは、本市を舞台にした映画『野のなななのか』の上映会を開催した平成27年以来3年ぶりのことです。

映画『花筐』は、佐賀県唐津市を舞台に、太平洋戦争ぼつ発直前の若者の心の葛藤を描いた作品で、昨年一般公開されました。

この日は、約250人が会場に詰め掛け、映画上映会の後、俳優の常盤貴子さん、窪塚俊介さんらと大林監督がトークを繰り広げるなどし、市民との交流パーティーが開かれました＝写真＝。



MOA美術館芦別・赤平児童作品展が開催される



心豊かな人間や自ら学び、考える力などの育成を目的として小学生から絵画、書写作品を募集したMOA美術館芦別・赤平児童作品展が10月13日と14日、芦別市民会館で開催されました。

実行委員会の主催で、今年で30回目の開催。

同展には、芦別、赤平両市合わせて絵画の部に411点、書写の部に171点の応募があり、全作品が芦別市民会館で展示されたほか、14日には表彰式が行われ、MOA美術館奨励賞や芦別、赤平両市の市長賞などが発表されました。